

# 酒々井町郷土研究会々報

第42号

昭和61年10月1日発行  
酒々井町郷土研究会 総務部

十周年を祝して

酒々井町長 京増 正儀

このたび、酒々井町郷土研究会がめでたく十周年を迎えられ、記念の文化展を催されますことは、まことに意義深く、相宗会長をはじめ、会員の皆様のご努力に敬意を表するとともに、心からお祝いを申し上げます。

当時は、この十年間に人口が急増し、町の様相も大きく変化して参りました。「温故知新」と言うことばの通り、当町が生ずるまでの長い間の自然や文化の変遷、また町制施行後の十七年間、大きな時代の流れとそれぞれの時代における様々な郷土の姿、歴史を研究することは、今日を知るために極めて貴重なこととあります。

明治の美術家岡倉天心は、「歴史の中に未来の秘密がある。」

と喝破してあります。過去の長い歴史をたづね究め、現在を知り、誤りなき未来を築くことは古今の哲理、鉄則であります。郷土研究会が、年々会員が増加し、その事業も多種多様立派な業績を積み重ねて参りました。

## 郷土研究会

### 十周年おめでとう

が、記念すべき十周年を一つの節目として、更に住民の参加を求めながら飛躍発展を続けられますよう、衷心からご期待申し上げます。お祝いのごことばといたします。



十周年にあたりて  
会長 相宗晴次

郷土研究会は昭和五十二年一月、郷土文化の向上と文化財愛護、郷土の歴史、地理を学びながら会員相互の親睦を図ることを目的として発足いたしました。これより先、数年前文化財審議委員会を中心とした酒々井町地方史研究会がつくられており、町内の古文書調査や文化財の調

査を実施して、古文書目録を作成するなどそれなりの成果を納めておりました。地方史研究会は研究機関として専門的であったために会員数も少なく何かと不便もありましたので、会員の幅を広くして活動するために発展的解消をして郷土研究会を設立することといたしました。

郷土研究会は設立と共に会報を定期的に発行して、町内外の史跡見学会、野草観察会など一般市民を対象とした行事も実施したことにより、新旧住民の間にその趣意が浸透して、会員数も激増することになりました。



この間、本来の事業である郷土史講座の開催、文化財愛護活動、古文書学習会、史談会の開催をなし、さらに石仏調査を行い、石仏の発掘整理をして埋もれた文化遺産の保護に努め、あるいは酒々井町在住百年以上の四八八戸についての家紋調査を行い、当町の家紋と姓氏の実態を解明するなど多くの成果を納めて参りました。

十周年を顧みて、役員及び会員各位のご協力に対して感慨無量であります。会発展のため今後とも一層のご尽力をお願いいたします。

機縁

木内 忠治郎

勤めを辞め潜んでいた頃孫が小学校に入り、小生親の代役としてPTAに。やがて公報編集の係となる。

ある日一つの投稿を受けました。「町から芝山の仁王尊に通ずる道の入口にあった道標が消えている。貴重な町の文化財が無関心の間に失われいく事は遺憾だ」という整鐘の一文です。実は私自身無関心派の一人ながら、異論のあるわけもなく、頭のさがる思いで、偶々室に居られた間宮校長にお見せし、相京と申す方のお人柄を尋ねますと、即座に元PTA会長や町会議長もされた立派な人物と教えられました。

そこで早速、ご高説拝受今後のご教導を仰ぐ意味の親書をお送りし、幸いに以後何回となく投稿があり、この反響は後日教養読本出版の機縁となり、延いては町の文化運動展開の糸口となつたと申しても過言ではないと思ひます。この相京氏、

そ現郷土研会長、相京晴次氏であることは申すまでもなく、ここに一文を捧げて、本会の隆昌をお祝いし、重ねて相京会長の「加餐とご健康をお祈りして祝辞といたします。

十年あれこれ 思いつくまじに

真子 千鶴子



十年前、郷土研が生まれた頃の酒々井町は、人口は九千余人位ではなかつたらうか。東しすいと役場の間には小さいながらも山あり、谷あり、沼あり、中突台も春には山桜が咲き、秋には山百合の姿を楽しめました。本の中だけでは知らなかつた種々の野草、えびね、くまがい草、かたくり、つりかね草、春のりんどう、イカリ草等々、そして緑の色が濃く淡く、こんなにも色数多いものかと、自然のキャンバスに驚きました。ニ宮金次郎像のある酒々井小学校、加えて二つの分校、それはまるで「二十四の瞳」のような環境ではありませぬか。酒々井の生活に慣れるにつれ、不便さも少しづつ忘れ、「これが本当に人間らしい生活」ではないだらうかと素直に喜べる

自分に変わっていきました。そんな新しい住民と、酒々井の人達は「郷土研究会」というオアシスを作って迎え入れてくれました。それはまるで露天風呂の様な心地良い出会いの場所となつて、当初一〇七名から現在四倍にも増えて、十年の歳月を経てきました。

現在、町の人口は二万人近く、東しやすい、中央台には緑は庭木の程しかなく、住宅地の波は確実に酒々井の美しい緑を削り取っています。願わくば、町に唯一残された広大な「本佐倉の城跡」だけは、緑の森の公園として「梅の郷」として、これからの酒々井町をになう人達の為に残してやうにい、いや絶対に残さなければ取り返しの出来ない誤りとして歴史のページに、心ある人々の良心に刻み込まれる不安はなきにもあらずではないでしょうか。

これから十年後の酒々井の町は、人々は……夢があり、希望がある酒々井とするために、考えながら行動する郷土研の一員でありたいと思ひます。

郷土研究会のあゆみ

五二・一三 郷土研究会発足。会員一〇七名

青年研修所にて創立、総会開催、会長 相京晴次氏、名簿第二号会員は木内忠治郎氏(曾日大重(子))

三三 第一回野草の会、砥古谷方面

四五 第一回果内見学会、市川方面、会費千円で弁当、菓子、ジュース付豪華に!

七六 一月間に郷土史講座六回開く、講座は昼・夜・部二回(無休日あり)

八六 第百号会報が一月遅れて発行、後記に筆耕者の私事多忙のためとある。(このおちろみも、発行日を守るのに必死の現稿集製一同、うらやましい!)

九一 第百号会報が一月遅れて発行、後記に筆耕者の私事多忙のためとある。(このおちろみも、発行日を守るのに必死の現稿集製一同、うらやましい!)

五三・一四 第四回七草かゆを食べる会、会費百円(ほんとし)

終了後、百人一首(がっくは、櫻雅だにんすね)

一・二 第一回総会開催

四元 第一回山菜を食べる会、会費五百円

五三 古文書研究会 始まる

五二 石仏調査始まる

一〇二 第一回 果外見学会、観光バス使用、会費二千五百円

四七名、さきには風土記の丘方面

五四・一七 第三回総会開催

一・二 言 果外見学会、五名、益子方面

「日本史年代于支層表」と会員配布

五五・一六 第四回総会開催

中川支部 発足

七九 史談会 始まる

二二 中央公民館開館、郷土研の行事会場は青年研修所より中央公民館になる

一一六 果外見学会、鎌倉方面、一〇三名

一一二 一泊見学会、房州方面

五六一・二四 第五回総会

文化財保護としてさくらんぼしょうま

カンカユロ、伊藤松並木の草刈りを決定

六・七 果外見学会、鎌倉長谷大仏方面、九五名

文化展開催について

会田 秀雄

十周年を迎えて何か記念の行事をしようという委員の皆さんの意見が一致して、会長さんにご相談申し上げ了承を頂きました。色々考えた結果、各家にある昔からの珍しい品物を展示したらどうかという事になり、会員の皆様にご協力して頂くことになりました。

果して集まるかどうか不安はありましたが、行事について前号の会報でお願ひしましたところ、次々とご協力して下さるお知らせを頂いて

ありがとうございました。当日は茶菓の接待や抽選等も行われ、皆様のご期待にそえるものと考えて居りますので、どうぞお誘い合せの上お出かけ下さい。

開催日  
十月十八日(土) 九三〇〇〜十六〇〇  
十月十九日(日) 九三〇〇〜十五〇〇

会場

中央公民館 会議室・和室



泉をこんでー休みのようにくんでつなきい泉のよもやま話がつづきます。どうぞあなたも石仲間に

エーデルワイスを愛して

京須善太郎

アルピニストが頂上近く辿り着

ミヤマウスエキノウにそっくりなキク科の多年草、エーデルワイスは種類も多く、以前その気品に一目惚れの僕でしたが、当時萎らしたが、故ノスタルジアかと心配し、清らかな涼しい所とのおねだりにも応えてやり、元気になつたその姿に嬉しさがありありと感ぜられ愛おしく一入です。皆様もご存じの様はこの花は

いた時、群がる星の如く出迎え疲れを癒して呉れるのだそうです。春と暮れば彼女は彼女を足元に身はアルプスの尾根に佇むかの如き想いを馳せ、今は互に気心も知れ、庭に咲く友等と幸せな月日を送る彼女です。



清らかな

アルプの峰をさながらに

エーデルワイス

梅雨に咲きをり

萎れまじ

エーデルワイスは雪の花

汀花

郷土研日誌

日	行事内容	参加者
7/5	古文書学習会	9名
7/12	名勝探訪(成田方面)	9名
7/16	郷土史講座(日本の苗字)	約110名
7/20	文化財愛護(清掃) 上岩橋貝層・横光古墳 草刈・清掃	22名
8/3	石仏調査	4名
9/12	古文書学習会(最終)	8名
9/13	郷土研運営委員会	23名
9/18	茨城・雨宮観音方面	83名
9/21	名勝探訪 江戸川方面	10名
9/25	同上	名

会計報告

9月18日 県外見学会	
収入	会費 4500x83 373500.-
	(当日事務助金) 11,000.-
	¥384,500.-
支出	バス代 2台分 190,000.-
	休憩料 食事分 114,900.-
	運転者 ガイド代 10,000
	フラワーパーク 40,500
	東代(みやげ) 24900
	コピー代 900
差引残	3,300円 期州ハ ¥381,200

- 七. 花だいの種配布。
- 六. 一泊見学会、茨城宮、誕生寺方面。
- 五. 一泊見学会、第六回総会。
- 四. 長間エリクの後記が会員の集みだに筆耕者の真子さんが成田に転居(くろく様でして)。
- 三. 八. 県外見学会、深大寺方面、九. 八. 一泊見学会、鉾山、仁右門島方面。
- 二. 七. 第七回総会。
- 一. 七. 町の樹木に名札をつける。二七〇枚 石仏のバネル写真と中央公民館二階廊下に展示。
- 九. 九. 県外見学会、横浜方面、一三五名。
- 八. 二. 文化協会兼足、郷土研も加入。
- 七. 五. 第九回総会。
- 六. 三. 第九回総会、ガリ版刷りをオフセト印刷になる。(ご)と読みやすくになりました。
- 五. 二. 平和の花だいのを広める会に種一七と金一万円を送る。(これに咲いた)。
- 四. 一. 県外見学会、青梅方面、八七名。
- 三. 一. 一泊見学会、鶴見稲荷寺、御宿方面。
- 二. 一. 第九回総会。
- 一. 一. 議事終了後、長年続いた演芸会、文化映画となる。
- 〇. 一. 二. 八. 下岩橋支那参足。
- 〇. 一. 一. 真子さんの後持遺言を編集しての会報と第三号より、九名で編集。
- 〇. 一. 四. 二. 今年度行事として、第四回町長墓参りを行う。
- 〇. 一. 九. 二. 九. 県外見学会、川越方面、一〇五名。
- 〇. 一. 一. 〇. 五. 町内にレンゲの種を蒔く。
- 〇. 一. 一. 一. 一. 一. 一泊見学会、横須賀、安房神社方面。
- 〇. 一. 一. 一. 一. 一. 一. 第一〇回総会。
- 〇. 一. 一. 一. 一. 一. 一. 会則改正(会計二名、三名)。
- 〇. 一. 一. 一. 一. 一. 一. 顧問に木内忠次郎氏就任。
- 〇. 一. 一. 一. 一. 一. 一. 県外見学会、茨城県雨宮観音方面。
- 〇. 一. 一. 一. 一. 一. 一. 八三名。
- 〇. 一. 一. 一. 一. 一. 一. 郷土研一〇周年記念文化展開催。
- 〇. 一. 一. 一. 一. 一. 一. 祈 参加者多数、大盛況。

◎ 皆様の日頃の御協力に感謝し、ますますの御支援をお願いいたします。

郷土研行事案内

61年10月~12月

	10月	11月	12月
史談会	4日(土) 午後1時30分 中央公民館 (古今佐倉真佐子を読む)	1日(土) 午後1時30分 中央公民館 (古今佐倉真佐子を読む)	6日(土) 午後1時30分 中央公民館 (古今佐倉真佐子を読む)
石仏調査	休み	9日(日) 午前9時 中央公民館 雨天の場合は中止	休み
野草観察 名勝探訪	お休みします。		
県内 見学会	<b>11月28日(金) A班</b> 見学地 千葉港ホトタワ- 県立美術館-千葉動物園 <b>12月3日(水) B班</b> 午前8時30分 中央公民館前出発 会費 ¥2,000 定員各班35名 注意 昼食に お茶 がつきませんので各自ご用意下さい。		
泊 見学会	<b>11月13日(木) 14日(金)</b> 見学地 出発 茨城県 佐竹寺-瑞龍山-西山荘-袋田温泉(泊) 午前 7時30分 光ドライブイン 7時35分 日栄クレーンク 7時40分 中央公民館 袋田の滝-借楽園-好文亭-大洗海岸 会費 ¥17,000 定員45名		
文化展	10月18日(土) 9:30~16:00 郷土研究会10周年記念文化展 19日(日) 9:30~15:00 会場 中央公民館、会議室、和室 皆さま お揃いまでお出かけ下さい。		

申し込み  
10月18日(土)  
10月19日(日)  
花展会場 和室入口

見学会申し込み

受付 10月18日 9:30~16:00 受付場所 中央公民館・和室入口  
 10月19日 9:30~15:00

キャンセル 旅行日の1週間前(11月6日)までにお申し出下さい。それ以後は金額いたてにたくこととなります。できるだけ代理の方を決めて下さい。

キャンセル受付 会田 秀雄宛

一泊見学会  
10/13(木) ~ 10/14(金)

公民館から一路茨城県日立太田へ。国指定重要文化財の本堂がある佐竹寺を見学、そしてすぐ近くにある徳川光圀(水戸黄門)の隠居所「西山荘」国指定史跡を見学する。一走りして袋田へ。四段に落ちて落ちる「四段の滝」ともいう袋田の滝を見学して、宿泊は古くから常陸第一の名湯とされている袋田温泉です。

第二日は帰り道、水戸によって水戸藩の藩校「弘道館」国指定特別史跡を見学、戦災などで失われた部分もあるが、一部は残っている。次いで水戸の殿様「衆を階に楽しむ」場所として設けた公園「階楽園」を見学する。今は梅林で名高い「国指定の史跡・名勝」である。園中にある好文亭の「好文」とは梅のことである。以上で二日間の見学を終る。

県内見学

- ◎ 千葉ポートタワー 海と歴史と未来を語る展望塔。マリンタワーは日本一の高さ125メートル。素晴らしい景色が眺められます。
- ◎ 県立美術館 ホトタワの近くにあり、今は千葉県高等学校総合美術展覧会が第31回。こちらも県展が開かれています。
- ◎ 千葉市動物公園 広さは上野動物公園の二、三倍。動物の数は少ないが、ふれあいの場として楽しんでいます。

編集後記

十周年記念にあたり巻頭に町長さんのお祝いの言葉を載せることができ、編集員同大変よろこんでおります。有難うございました。会員増員に金報がもつハイパードにますます責任を思い、会員間の語り合いの場になりますよう、皆様のご支援をお願いいたします。